

新興国レポート

不振が続くインドの自動車業界

自動車業界の持ち直しがインド経済の持続的な成長のカギに

- 2020年3月の新車販売台数が前年同月に比べ61%減少。リーマンショック直後以来の低水準。
- 金融機関の貸し渋りや自動車保険の加入義務付け期間の延長などを受け、2018年から販売は低迷。
- 今後は新型コロナウイルスの終息と政府による自動車販売支援政策が期待される。

全土ロックダウンにより生産・販売が停止

2020年3月のインドの新車販売台数が前年同月に比べ、61%減少し15万6,041台となりました(図表1)。2月から3月の販売台数の落ち込みは急激で、3月は、リーマンショック直後である2008年12月(約12万台)以来の低水準となっています。内訳では乗用車が51%、商用車が88%の減少となりました。モディ政権は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3月下旬に全土で21日間のロックダウン(都市封鎖)に踏み切っており、生産や販売が停止したことが影響したものとみられます。インドにおける感染者数は急増しており(図表2)、封鎖期間の延長も想定されていることから、4月はさらなる落ち込みが予想されます。

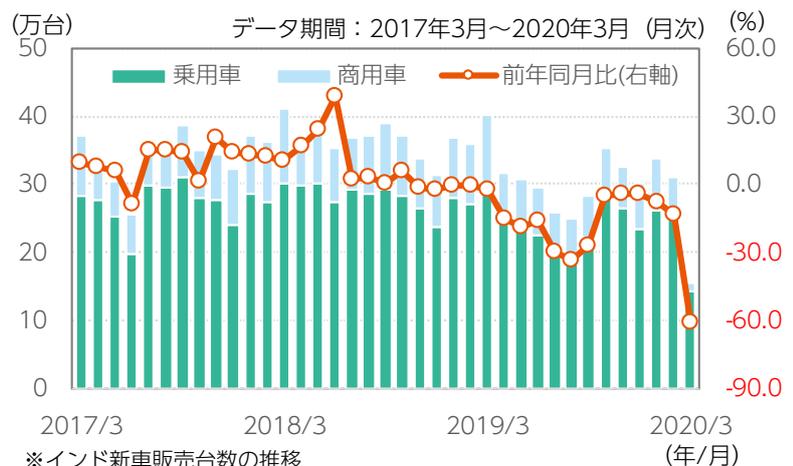
消費者の自動車保険料の負担増加なども影響

インドの自動車販売は、ノンバンクの信用不安を発端とした金融機関の貸し渋りや、自動車保険の加入義務付け期間延長による消費者の負担増加などを背景とした購入意欲の低下などから、2018年後半より販売は低調となっていました。また、2020年4月より施行された新排ガス規制に対応した車両を購入するため、政府の補助金を待つ消費者の買い控えも影響したと考えられます。新型コロナウイルスの感染拡大が、長らく苦戦を強いられてきた自動車業界に追い打ちをかけた可能性があります。

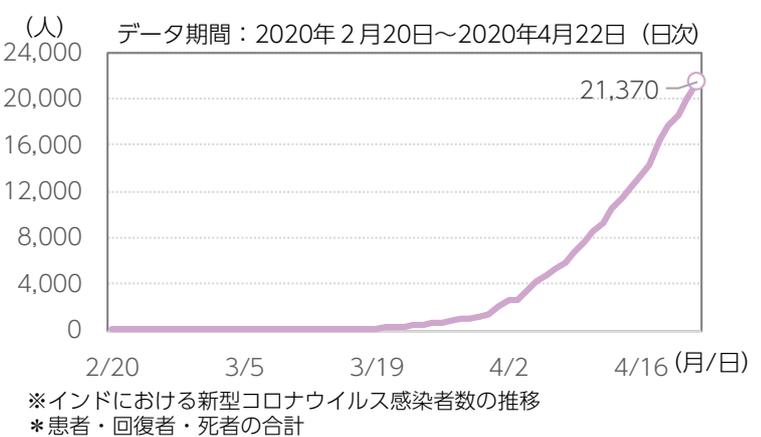
政府の自動車販売支援の効果が期待される

インドの自動車市場規模は世界4位であり(図表3)、持続的な経済成長には自動車業界の持ち直しが重要となります。インド政府は、車両登録料の引き上げ延期や、公用車の買い替え容認など、一昨年より低迷する自動車販売に対し多様な支援を行っています。感染拡大による影響から更なる支援策も期待され、今後の自動車業界の持ち直しが望まれるところです。

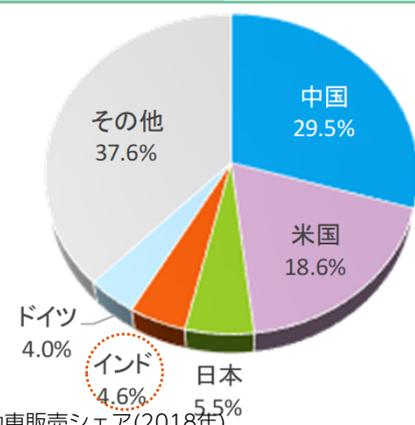
図表1：新車販売台数は前年同月比で大幅に減少



図表2：新型コロナウイルスの感染者数は急増



図表3：経済成長には自動車市場の持ち直しが重要



出所) 図表1はCEIC、図表2はブルームバーグ、図表3はジェットロのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>